

2か月連続特集・第3期峰執行部始動!

県歯・委員会活動がスタート!

◆ 全体委員会報告	1
◆ 各委員会紹介	2
4月支部長会報告 (新任期最初の支部長会 平成21年度事業について協議)	8
第203回臨時代議員会報告 (平成21年度事業ビジョンを提示 議事運営委員等を選出)	12
第74回定時総会報告 (平成20年度一般会務報告及び平成19年度各会計決算報告)	15
第76回通常総代会報告 (平成20年度歳入歳出決算等を承認)	15
4月理事会報告 (平成21年度事業執行体制を協議 3つの臨時委員会を設置へ)	16
社会保障支部担当者連絡協議会 (県歯と支部担の役割を再確認、支部へも積極的に出かけた)	19
公衆衛生支部担当者連絡協議会 (8020運動推進特別事業について協議)	19
上場株式等の配当所得の課税方法の改正について	20
会員事業部門生涯研修コーナー (今月の生涯研修該当論文)	21
委員会便り	22
4月会務日誌	22
会員消息のページ	22
企画調査委員会からのお知らせ	23
互助会各部・歯科国保組合の現況	24
編集後記	25

県歯・委員会活動がスタート！

4月16日全体委員会報告&各委員会紹介

4月16日(木)、任期の初めに三重県歯科医師会の常任委員が一堂に会する、恒例の「全体委員会」が開催されました。ベテラン委員から初々しい新人委員まで37名が2F大会議室に集結、峰会長の挨拶、役員紹介の他、芝田専務理事による県歯事業機構及び常任委員会の概要説明等が行われました。全体委員会終了後は、それぞれの委員会に分かれ、さっそく実務協議がスタート。県歯会館が熱気にあふれた一日でした。



会長挨拶

本日は本当にお忙しい中ご出席戴きありがとうございます。まず先生方には、大変診療状況が厳しい中で、委員就任を受けて戴いたことに心より感謝を申し上げます。私ども執行部はこの春、人心を一新してスタートいたしました。すでに以前とはかなり違った方向で今いろいろと活動しております。

最近の各種報道を見ておきますと、歯科医師国家試験の合格率が一段と低下する一方、歯科医師を目指す学生の受験者数がかなり減ってきているなど、少子化の影響のみならず、歯科の世界の魅力が薄れてきているかのような雰囲気が懸念されるところであります。また公益法人制度改革への対応を検討する中で、歯科医師会会員であることのメリットというものも、今一度見直し、また改めて強調していくべき時期でもあると考えております。

そのような時代背景でありますから、これまでは、例えば公衆衛生は公衆衛生、社会保障は社会保障というように縦割りの活動で良かった部分も、今後はこれまで以上に各委員会がクロスオーバーしながら様々な施策を展開していく必要性があろうかと存じます。先生方にはそういった変化も踏まえながら、県歯事業執行の手助けをして戴きたいということでもあります。

現在、日本歯科医師会の執行部には、東海四県の会長あるいは役員が多数参画しております。従いまして三重県歯科医師会での様々な活動・議論といったものが、ストレートに日本歯科医師会に届く状況にあります。そういった部分もぜひご理解戴きまして、今日の各常任全体委員会で活発な意見交換をして戴きたいと期待している次第でございます。今日一日、長い会議を有意義なものにして戴くようお願いいたしまして、挨拶とさせて戴きます。

社会保障 部門

常務理事
羽根司人

事業計画

保険医及び保険医療機関の開設者・管理者として歯科保険診療に従事する三重県歯科医師会会員への支援を通じて、質の高い歯科医療を継続的に提供できる健全な体制を維持、発展させることにより、県民の口腔及び全身の健康増進に寄与する。

*Social
Security
Section*

■ 社会保障委員会

理事	小林明寿	鈴鹿
理事	辻孝	四日市
理事	大杉和司	津
委員	松岡俊介	桑員
委員	今村芳義	四日市
委員	和田守生	鈴鹿
委員	川村敏之	津
委員	小田寛	松阪
委員	前村学	伊勢度会
委員	和久田哲生	伊賀



今年度から役員等任期が2年へ変更されたことにより、社会保障委員は就任からちょうど1年後に診療報酬改定を迎える形になりました。また、レセプトオンライン化が平成23年4月に原則完全義務化されるのに伴い、新たに設置される臨時委員会と協調して、この任期の終りにはすべての会員の先生方が円滑に移行できるようサポートする役割も担います。事業計画大綱で「社会保障委員会機能のレベルアップ」が謳われた所以です。

この重責を担うにあたって、あえて留任は和田先生・和久田先生の二人のみという、新鮮なメンバーで臨むことにしました。大幅に刷新された理事者も含め、実働部隊としてフル稼働する「新しい社会保障委員会」を目指してのスタートです。第1回の委員会から、委員の先生方にはスキルアップを求めて大量の宿題を出させて戴いております。もし、あまりの責務に音を上げている社保委員を見かけるようなことがありましたら、ぜひ周りの先生方から励まして戴きますようお願いいたします。

2か月連続特集・第3期峰執行部始動！

会員事業 部門

常務理事
齋藤 弘

事業計画

会員の福祉厚生及び医院経営安定さらには学術向上のために必要な施策を展開する。また、今後予想される歯科衛生士不足に備えて未就業歯科衛生士のためのリカバリー支援事業について検討する。

Member Business Section

◆医療管理委員会

理事 林 尚史 松 阪
委員 橋爪 康 津
委員 荒木田哲二 伊勢度会
委員 久保幸彦 志 摩
委員 山本英志 志 摩



今期は新任の林 尚史理事を中心に事業展開を行います。委員には荒木田委員、橋爪委員、久保委員の経験者3名に加え、新たに山本委員に参加して戴くことになりました。

平成18年の医療法改正により、我々の歯科診療所にも医療安全に関する措置が義務付けられ、年2回程度の研修の必要性が謳われています。当委員会がこれに対応した研修会等を企画開催することにより、県内すべての会員診療所で、より安全な歯科診療が提供できる体制を整備していきたいと考えますので、皆様の積極的な参加を期待しています。

また、今後少子化の影響などで歯科衛生士不足がさらに深刻化することが予想されます。歯科衛生士という業種の認知度を向上させるための施策や退職歯科衛生士の復職支援についても、中長期的な視点を持って検討していきます。さらに、新型インフルエンザ発生時の指針についても検討する予定です。

◆学術委員会

理事 辻 哲 桑 員
 委員 山内 貴司 四日市
 委員 前田 圭司 津
 委員 村田幸一朗 松 阪



4期目のベテラン・辻 哲理事を中心に、3名の委員で学術委員会を担当します。留任の前田委員に、山内委員、村田委員が新加入。若い先生たちの発想にも期待しています。

歯科医療にも様々な新しい技術や考え方が取り入れられ、かつては特殊だった治療がスタンダードになってくる等、私たち歯科医師が日々研鑽を積むことが、以前にも増して求められています。そうした県民の要請に応えるべく、いっそう良質な歯科医療を提供するために必要であり、かつ日々の診療に役立つ学術講演会等研修事業の開催、インターネット等を通じた情報提供を積極的に行います。

◆福祉厚生委員会

理事 武田良一 伊 賀
 委員 伊藤 裕 継 四日市
 委員 松本 一 実 松 阪
 委員 大竹 秀 人 伊 賀



前期から引き続き武田理事が統括の任にあたります。大竹委員（留任）と、伊藤委員（新任）、松本委員（新任）の3名が構成メンバーです。フレッシュな力を福祉厚生事業に注いでくれることを期待しています。会員福祉に関する既存の事業の充実を図りつつ、今期は特に会員の健康増進に貢献するため、歯科医師国保組合との連携のもとで特定健康診断・特定保健指導実施率を向上させたいと考えています。併せて、公益法人制度改革によって共済事業の見直しが必要になる可能性を考慮し、それに対応する準備も進めていく予定です。

2か月連続特集・第3期峰執行部始動！

地域保健
部門常務理事
中井孝佳

事業計画

県民の健康寿命の延伸及びQOL（生活の質）の向上を目指して、外部の組織・団体との協働を図りながら、地域に根ざした口腔保健活動の推進及び障害者歯科診療に取り組む。

Regional
Health
Section

● 公衆衛生委員会

理事	杉原信久	四日市
委員	星野良行	桑 員
委員	伊東 学	四日市
委員	塚田浩司	亀 山
委員	中村仁大	津
委員	西村充功	松 阪
委員	右京博巳	伊勢度会
委員	多湖 準	尾 鷲
委員	廣島邦泰	伊 賀



今年度、公衆衛生委員会は新理事1名、新委員6名を迎えての出発となります。当委員会では、次世代育成支援、学校歯科保健推進、高齢者歯科保健対策など県内各地域において事業を展開してまいります。「活動は軽やかなフットワークで！ 会議は粘り強く、効率的に！ 啓発は相手の立場に立って分かりやすく！」をモットーに、常に風通しの良い委員会の環境づくりを心がけたいと存じます。

事業執行においては、支部歯科医師会さらには歯科衛生士会、歯科技工士会など協力団体との連携を密にし、情報共有に努めてまいります。多様な主体による協働体制確立のため、行政機関、関係団体との対話を重視し、さらなる県民の歯科保健意識の向上を目指して、情報提供に努力してまいります所存です。

今後とも、会員の皆様のご指導とご助力をお願い申し上げます。

●障害者委員会

理事 武山 一 四日市
 委員 眞弓充弘 鈴 鹿
 委員 小倉勇人 津
 委員 増井正大 津
 委員 中川英俊 伊勢度会
 委員 佐田浩孝 伊勢度会



2期目の武山理事と5名の委員が、三重大学・清水先生(専任)をはじめとする三重大学の先生方及び6名の歯科衛生士・受付スタッフとともに、障害者歯科センターにおいて、年間90日の障害者診療に臨みます。

今期は、患者さんたちによりいっそう安心して受診して戴けるよう、一人の歯科医師が治療からメンテナンス、定期健診まで一貫して行えるシステムを作り上げていくことを一つの目標にしています。さらに懸案である1次～3次医療機関のネットワーク事業の構築にも取り組みます。

情報処理 部門

常務理事
太田賢志

事業計画

情報処理部門においては、広報編集委員会では、対外的な広報事業及び会員への種々の情報提供事業等を行う。特に会員への情報提供についてはインターネット環境の進捗状況を踏まえ、伝達時間の短縮化・情報量の増大化の面からも、ホームページ及びメールマガジン等を利用した情報提供の機能強化に努める。

企画調査委員会では、三重県歯科医師会事業の企画立案に資するため「最新歯科医療実態調査」を中心に種々の調査研究を行い、併せて会員への歯科医療に関わる情報提供事業等を行う。

*Information
Processing
Section*

2か月連続特集・第3期峰執行部始動！

▲広報編集委員会

理事	熊谷 渉	伊勢度会
委員	井上 博	四日市
委員	呉山隆浩	鈴 鹿
委員	森 誠	亀 山
委員	亀井貴彦	津
委員	杉山拓紀	松 阪

※森委員は支部公務のため欠席



平成12年県歯ホームページ開設、平成15年メルマガ配信開始、平成20年E-MAIL配信開始——、情報化社会に対応した県歯広報のインフラ整備が整ったところから今期の広報委員会はスタートします。指揮をとるのは新時代にふさわしい熊谷新理事。委員にも活きのいい若手を集めました。伝統ある『三歯会報』と新しいメディアの特徴を活かした対会員広報を展開、2年目に入る『歯のオアシス』をはじめ、マスメディアと連携した対外広報もさらなる充実を図っていきます。

▲企画調査委員会

理事	桑名良尚	津
委員	蛭川幸史	桑 員
委員	片山 昇	伊勢度会
委員	廣島正樹	伊 賀



今期の企画調査委員会は、「今の歯科界は、従来の常識が通用しない時代だ」という峰会長の認識にかなう、新しい在り方を求められています。執行部最年少の桑名新理事と少数精鋭3名の委員がスクラムを組んで、高いハードルに挑みます。最初に手掛けるのは、「最新歯科医療実態調査」。会員の先生方の診療所の実態を把握するこの調査は、県歯事業計画のもとになる何よりも大切なものです。いきなり責任重大な仕事からになりますが、委員会の総力を挙げて取り組みたいと思います。

4月 支部長会 報告

開催日時：平成21年4月30日（木）午前10時

開催場所：三重県歯科医師会館

新任期最初の支部長会 平成21年度事業について協議



第3期峰執行部発足から1か月、新支部長7名を迎えた、今年度最初の支部長会が開催された。会議冒頭、会長挨拶に引き続き橋本副会長を座長に選出。新役員の紹介と支部長の自己紹介も行われた。一般会務報告の後、平成21年度事業についての協議と兼ねて各委員会報告を行った。

会長挨拶

新執行部は顔ぶれでいえば6名が入れ替わったにすぎないが、それ以上の変化を感じて戴けるかと思う。今後5～10年後の県歯を担っていけるよう、世代交代を意識した執行部のつもりである。ぜひ、うまく育てて戴きたい。

支部長会は拡大執行部として機能している。今後2か月に一度開催していくので、県歯事業すべての分野について、ご意見を戴きたい。

現下、世界及び日本の経済は大変低調であり、歯科界もその中で様変わりしてきている。歯科大学の入学者については、昨年から減少傾向にあったが、今年はさらに顕著になった。私立大学17校中11校で定員割れ、さらにそのうち4校は40%以上の定員割れという事態である。長年の懸案である歯科医師需給問題を一気に片付けたという見方もできようが、歯科界の将来を考えれば単純に歓迎できる話ではない。

歯科医院の経営状況については、平成8年から平成18年までの調査結果によれば、歯科医院の収支差額に格差が生まれ、いわゆる二極化の傾向が明らかになっている。経営状態の悪い歯科医院の実態が「ワーキングプア」などと報じられたことも、大学志望者が歯学部を敬遠するようになった原因であろう。

そういった変化も踏まえながら、日本歯科医師会と協調し、三重県歯科医師会の中でも活発に議論をして、歯科界、歯科医師会を盛り上げていきたい。

新型インフルエンザについては、今朝、WHOがフェーズ5への引き上げを決めたとのことである。日本歯科医師会も対策本部を設置した。三重県歯科医師会も今後の状況によって即断的に対応していくので、ご協力願いたい。

報 告 事 項

1. 一般会務報告（芝田専務理事）

- (1) 会員数（平成21年4月1日）
入会0名、退会0名、会員数857名。
- (2) 理事の順位・部署について
- (3) 代議員、支部長、支部役員等について
- (4) 常任委員について

- (5) 三重県警察医への就任について
- (6) 支部助成金について
- (7) 無料職業紹介状況
求職9件、求人98件、紹介2件、まとまったもの1件。
- (8) 平成21年度年間事業計画予定表について

2. 各委員会事業報告（協議事項「平成21年度事業について」も兼ねる）

〔学 術〕辻理事

- 平成20年度日歯生涯研修ライブラリーDVD版の送付について
Web配信に伴い、支部への配布はなくなる。
- 平成21年度東海信越地区生涯研修セミナーについて

〔社会保障〕羽根常務理事

- 平成20年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の実施について
中医協より明細書発行の一部義務化、歯科外来診療環境体制加算等について実施状況調査が行われる。7月頃を予定。
- 先進医療の科学的評価結果について（先進医療専門家会議）

歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴が承認された。

〔公衆衛生〕中井常務理事

- 平成21年度8020運動推進特別事業について
三重県の予算内示が早まったため、例年より早く事業を開始することができる。それに伴い各種依頼事業の主な変更点について説明。21年度実施の研修会等の参加状況等も報告。
- 平成20年度地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業調査結果について
保護者・通所施設及び歯科診療所を対象に行ったアンケート結果の報告。21年度内を目途としてネットワーク事業を立ち上げる予定。
- 「いい歯の8020応募」について

審査票の質問事項の変更点を説明。

〔医療管理〕齋藤常務理事

- 歯科衛生士インターンシップ・歯科医師ジョブシャドウイング事業について
高校2年生の夏休みに実施する。今年度より新たに歯科医師ジョブシャドウイングも行う。
- 『めざせ！歯科衛生士』ポスター
近鉄車内広告を6月の歯の衛生週間に合わせ、2週間掲載（鳥羽一名古屋間）。
- 自動体外式除細動器（AED）の適切な管理等の実施について
厚生労働省の注意喚起資料を会員に配布する。
- 新型インフルエンザウイルスの対策について
日本歯科医師会に大久保会長を本部長として新型インフルエンザ対策本部が設置された。
- GW中の各支部診療状況について

〔広報編集〕太田常務理事

- 県歯Eメール配信の状況について
4月28日現在、完了メール395名。さらなる参加を支部長からも呼びかけてほしい。
- 中日新聞「歯のオアシス」について
今年度も継続。内容をマイナーチェンジし、4月25日に第1回を掲載した。
- 支部短信について
支部広報担当の取材に基づき、県歯広報編集委員会が記事を作成する。
- 5月14日の支部広報編集担当者連絡協議会について
- 三歯会報7・8月号記事について
- 会員役員名簿作成スケジュールについて

〔企画調査〕太田常務理事

- 平成21年度最新歯科医療実態調査について
事業計画の根拠であり全会員の協力をお願いしたい。例年より早く7月に調査を開始する。
- 平成21年経済センサス基礎調査について
総務省の全事業所を対象にした調査が7月に実施される。回答義務がある。

〔レセプト電算化・オンライン化対策委員会〕

田所副会長

- 各支部から担当委員の選出を依頼。全会員対象のレセコン機種調査についても協力を願う。

〔歯科医師国保〕武田理事

- 平成20年度特定健診支部別受診結果
平成20年度の受診率は51.33%だったが、21年度は70%を達成したい（後期高齢者医療制度の支援金に影響するため）。そのため、支部での会員健診事業をなるべく夏までに実施して戴きたい。

〔その他〕

- グループ保険の加入お願い
現在の加入率のままでは特約の特典が受けられなくなる。会員の先生方に新規加入をお願いして戴きたい。

関 連 質 疑

Q：山本支部長（志摩）

H Pの会員専用ページに「検索」を設けて、パソコン、メールに慣れていない先生にも対応してほしい。

A：太田常務理事

一般向けページと異なり、既成のシステムを利用できないため、「検索」をつけるには大きなコストがかかる。サイトの構成を分かりやすく見直しているの、診療報酬改定時等だけではなく、なるべく頻繁にアクセスして慣れて戴きたい。

A：羽根常務理事（追加）

必要な社保関連資料は、支部社保担当者を通じて紙でお渡しできるよう配慮する。

Q：渡部支部長（鈴鹿）

会員健診事業を夏までに実施するためには、現在進めている計画を前倒しする必要があるが、具体的な期限はあるのか。

A：武田理事

国保連合会での健診結果のとりまとめに半年ほどかかることを考慮して、なるべく早く実施して戴きたい。



山本支部長（志摩）



渡部支部長（鈴鹿）

協議事項

1. 平成21年度事業について（前掲）
2. 歯の衛生週間事業について
（中井常務理事）

「歯の衛生週間」実施要領と各種コンクールの審査についての確認と説明及び協力依頼を行った。

支部長よりの提案事項

○元会員の再入会について

浅野支部長（四日市）

近年、三重県では保険医及び保険医療機関取り消しの事例が散見されるようになっており、対象となった会員は、同時に県歯を自主退会している。ある支部では取り消しの5年を過ぎた元会員が、再入会するには入会金・負担金の再度の納入が必要になるので、未入会で開業したと聞いている。

一方で日歯は、未入会対策の一環として金銭面のハードルを下げるべく入会金をゼロとする案を出している。

元々、規約では再入会を想定しておらず、まれなケースではあろうが、県歯も未入会対策の一環として過去に入会金・負担金を納めた元会員が再入会を希望する際は、理事会判断で入会金等の免除ができるよう規約に盛り込んで戴きたい。

峰会長

まずお尋ねしておくが、この提案は四日市支部の総意として出されたものと受け止めてよいのか。

浅野支部長（四日市）

支部の理事会を含め、会員からそのような声があったということだ。

峰会長

日歯が組織率の向上のための対応策の一つとして、入会時負担金を0円にすることを挙げていることは事実であり、未入会対策としては、そうした検討も必要であると考えている。一方で、歯科医師会は、日歯・都道府県歯・郡市区歯科



医師会の三層構造を取っている。三者はそれぞれ規模が違い、運営面からも一概に足並みをそろえることは困難である。また、入退会のハードルがないに等しい状況になれば、自己都合で一時的に会員の権利を利用するような者も出てきかねないという危惧もあり、安易に特例を認めることは難しい。

同時に歯科医師会が組織として考えるべきは、我々は高い公益性を担う団体として、そのコンプライアンス及びガバナンスを一般社会から常に注視されているということである。それなりの理由があって退会した元会員については、県歯においても支部においても、より慎重な対応が必要になると考える。

〔その他の質疑〕

浅野支部長（四日市）

峰会長が日本歯科医師会理事に就任したが、県歯の執務に支障が出ることはないか。

峰会長

支障を出さないという覚悟と自信がなければ理事就任の要請は受けていない。マイナスよりもプラスの方がはるかに大きいと考えている。

（広報編集担当理事・熊谷 渉 記）

第203回 臨時 代議員会 報告

開催日時：平成21年4月30日（木）午後1時30分

開催場所：三重県歯科医師会館

平成21年度事業ビジョンを提示 議事運営委員等を選出

県下11支部より新たに選出された33名の代議員が出席して、第203回臨時代議員会が開催された。代議員会議長には前期に続き藤田代議員（伊勢度会支部）が選出され、副議長は議長により永田代議員（四日市支部）が指名された。会長からは日歯の新執行部の体制から口腔保健法までの情勢報告があり、常務理事らは平成21年度事業ビジョンの提示を行った。議事では、議事運営特別委員等が選出され、顧問委嘱についても承認された。

会長挨拶

初めて会長職をお預かりしてから7年目、3期目の執行をスタートさせて戴いた。1期目は社保本人が3割負担となった時、2期目は支部合併により11支部体制となった時であった。3期目は公益法人制度改革のさなか、暫定的な特例民法法人として今後の方向性を探りながらの船出ということになる。

現在、歯科界が抱える問題は大変複雑な要素を含んでいる。歯科医院経営については、単に苦しくなってきたというだけではなく、診療所間の格差が顕在化しており、従来のような一面的な対策だけでは対応しきれなくなってきた。

そうした事情も影響してか、今年度、私立大学歯学部の中で入学定員を大きく下回ったところが

出てきた。一方で歯科医師国家試験の合格率は右肩下がりという状況にある。歯科医師需給問題も新たな視点を持って取り組んでいく必要がある。

併せてコ・デンタルの志望者の減少も大きな問題だ。歯科医療に不可欠な歯科衛生士・歯科技工士の育成については、早急に実効性のある対策を講じていく必要があると考えている。

言うまでもなく、公益法人制度改革やレセプト電算化・オンライン化への対応も、今後2年間の執行の中で対応していかなければならない。

そうした時代の変化、要請に応えるべく先を見据えた執行部を組織したと自負しているが、代議員会でもぜひ積極的に意見を出して戴き、ともに新しい歯科医師会作りを行っていききたい。

選挙管理委員会報告

中西選挙管理委員長

任期満了に伴う日本歯科医師会代議員2名及び予備代議員2名の選挙については、ともに定数を超えなかったため、右のように決定した。

日歯代議員	齋藤 弘	津支部
同	芝田憲治	四日市支部
日歯予備代議員	羽根司人	志摩支部
同	太田賢志	津支部

報告事項

1. 会長報告

(1) 日歯関係について

日歯新執行部は監事を含めた27名中、東京から7名、東海信越地区から7名が選出されている。地域としては偏在があるが、上手く機能できるように割り振ったということだろう。私は学術・生涯研修、国際渉外を担当するので、日本歯科医学会の理事も兼務する。代議員会等でも現場の"温度"も含めた報告ができるかと思う。

「次期診療報酬改定対策本部（仮称）」が設置された。前回改定時のものよりも実務的な人選になっているので期待している。

(2) 歯科医師需給問題について

第102回の歯科医師国家試験は全体の合格率が67.5%、新卒では76.1%だが既卒者では46.1%と再受験での合格はかなり難しいようである。新卒でも大学によってはかなり低い数字も見受けられる。私立大学歯学部定員割れの問題も含め、歯科医師会及び大学関係者が心して取り組むべき課題である。

(3) レセプト電算化・オンライン化について

医科病院及び調剤については、この4月からオンライン請求が義務化されたが、それに対して省令改正の動きが出ている。この3月から歯科レセ電算化も始まっているが、拙速な対応は避けた方が賢明かもしれない。対応が困難な先生方も、日歯レセコンASPサービス（「レセック」）や、支払基金の代行請求の動き等を注視して戴きたい。

(4) 公益法人制度改革について

共済部分についての適用除外については、平成23年の見直しまで待たねばならないようである。日歯の動向も見つつ、会費収入で成り立っている会としての身の振り方を考えていく。

(5) 口腔保健法について

自民党国民歯科問題議員連盟で法案の骨子が固まったようである。理念法として公衆衛生事業等の活性化が期待できる。一日も早い成立を願うところである。

2. 一般会務報告（芝田専務理事）

会員数、理事順位、支部役員・県歯委員の紹介、行事日程・会議日程等について報告。

3. 各事業関係報告

○平成21年度事業について

(1) 臨時委員会について（峰会長）

①機構改革委員会

（担当：橋本副会長）

②コ・デンタルスタッフに関する委員会

（担当：齋藤常務理事）

③レセプト電算化・オンライン化対策委員会

（担当：田所副会長）

(2) 各部門事業ビジョンについて

①社会保障部門

②会員事業部門

③地域保健部門

④情報処理部門

⑤総合組織改革部門

各担当副会長及び常務理事が、各部門の事業ビジョンを提示。齋藤常務理事からは、新型インフルエンザ関連の対応について日歯と協調して適切に対応していく旨の説明も加えられた。最後に芝田専務理事より、11月8日歯科保健大会（桑名市で開催）等、その他の事業についての説明が行われた。

関 連 質 疑

Q：加藤卓也代議員（四日市）

新型インフルエンザへの対応について、四日市市の保健所行政は三重県から独立した形になっている。どのように対応すればよいか。

A：齋藤常務理事

四日市市保健所の対応も含めた県内全体の新型インフルエンザへの対応について、全会員にFAXする。

Q：加藤卓也代議員（四日市）

従来、介護保険関連は地域保健部門・公衆衛生委員会が担当していたが、介護報酬請求については診療報酬請求と併せ、社会保障部門・社会保障委員会で担当して戴けないか。

A：羽根常務理事

今年度からはその方向で考えている。県歯HP等も含め、順次整備して会員の先生方の診療報酬請求・介護保険請求が円滑に行われるようサポートしていきたい。

議 事

第1号議案

議事運営特別委員会委員の選出に関する件

議事運営特別委員会規約第4条により代議員の互選により以下の7名が選出された。

服部 修	桑員支部
斎藤政夫	四日市支部
生川豊成	鈴鹿支部
眞田浩一	津支部
横山雅一	松阪支部
福田幸弘	伊勢度会支部
矢谷憲一郎	伊賀支部

第2号議案

選挙管理委員会委員の委嘱に関する件

選挙規定第6条により委員11名・予備委員11名を代議員の議決による指名に基づき会長が委嘱する。事前承認として各支部から選出する旨議決。

第3号議案

裁定審議委員会委員の委嘱に関する件

裁定審議委員会規則第5条により委員7名を代議員の議決による指名に基づき会長が委嘱する。事前承認として桑員・四日市から1名、鈴鹿・亀山から1名、津・松阪から2名、伊勢度

会・志摩から1名、尾鷲・南紀から1名、伊賀から1名を各支部協議のうえ選出する旨議決。

第4号議案

会館特別委員会委員の委嘱に関する件

会館特別委員会規定第4条により県歯会理事及び支部長を代議員会の承認により会長が委嘱する。議決により承認された。

第5号議案

顧問の委嘱に関する件

定款第20条により代議員会の承認を得て会長が委嘱する。以下の5名に委嘱する旨議決により承認された。

田中勇雄	（元会長）
中村宗矩	（前会長）
倉田巖圓	（弁護士）
岡本孝三	（税理士）
植村公順	（税理士）

（広報編集担当理事・熊谷 渉 記）

第74回 定時総会 報告

開催日時：平成21年4月30日（木）午後3時
開催場所：三重県歯科医師会館

平成20年度一般会務報告及び 平成19年度各会計決算報告



報 告

- (1) 理事の決定並びに順位・部署について
- (2) 会長報告
- (3) 一般会務報告
- (4) 平成19年度各会計決算報告

表 彰

- (1) 前任役員・代議員・支部長
- (2) 県歯国保組合健康組合員家庭表彰



第76回 通常総代会 報告

三重県歯科医師協同組合

開催日時：平成21年4月30日（木）午後1時
開催場所：三重県歯科医師会館

平成20年度歳入歳出決算等を承認



報 告

- (1) 役員の決定について
- (2) 平成20年度事業報告に関する件

議 事

- 第1号議案
平成20年度歳入歳出決算に関する件
- 第2号議案
平成20年度労働保険事務組合特別会計歳入歳出決算並びに剰余金処分に関する件
- 第3号議案
平成20年度剰余金処分に関する件

4月 理事会 報告

開催日：平成21年4月5日（日）・9日（木）

開催場所：三重県歯科医師会館

平成21年度事業執行体制を協議 3つの臨時委員会を設置へ

4月5日、今年度最初の理事会が開催され第3期峰執行部が始動。9日には4月2回目の理事会を開催し早々に実務協議に入った。

会長挨拶

現在の歯科界を取り巻く状況は大変複雑化しており、県歯執行部の役割はより重要なものとなっている。理事会では、歯科界及び三重県歯会員の

ための活発な議論が行われることを期待している。今日は早速、今年1年の事業執行体制や来週の全体委員会等について協議して戴きたい。

報告事項

1. 会長報告

大久保満男先生が2期目の日歯会長に就任され、新役員も決定した。第一副会長は近藤勝洪先生（東京都：社会保険・IT関係対策担当）、第二副会長は宮村一弘先生（愛知県：機構改革・渉外担当）、第三副会長は山科透先生（広島県：学術・地域保健・日歯総研担当）、専務理事は前期に引き続き村上恵一先生（東京都）である。

東海信越地区各県歯会長は、愛知県が日歯副会長兼務の宮村一弘先生、岐阜県が日歯連盟理事長兼務の高木幹正先生で、静岡県は飯嶋理先生、新潟県の岡田広明先生も続投である。長野県歯では、前会長の一志忠廣先生が日歯常任監事に専任されたのに伴い、長年社会保障を担当されていた滝澤隆先生が新たに会長に就任されている。

口腔保健法関連では、民主党から日歯に「法案

を再度提出したい」との提案があった。民主党の動きは選挙対策という側面が強いが、自民党にもなるべく早くアクションを起こしてもらいたい。

第102回歯科医師国家試験では、合格率が67.5%と近年では最低になった。学校によっては60%を割っている大学すらある。来年からはさらに厳しくなることが見込まれており、心配な状況だ。ただし、これだけ厳しい状況にあっても合格者は2,383名と、昨年、一昨年と比べて微増さえしており、すぐに需給問題が緩和されるわけでもない。一方で歯科大学の受験者数が国立大学も含めて急激に減っているという現実は、「歯科」という職種が魅力を失いつつあることの表れだ。需給問題解決への道筋を探ると同時に、これからの歯科医療を担う人材の「質の確保」という視点からも早急な対応が迫られている。

2. 一般会務報告

- ・ 無料職業紹介事業報告（累計）：求職9件、求人98件、紹介2件、まとまったもの1件
- ・ 県歯ホームページアクセス集計：3,635件

- ・ 4月、5月行事予定
- ・ 前期委員への記念品の送付について
- ・ 事務局職務区分について

3. 各委員会事業報告

■ 社会保障部門

[社会保障]

- ・ 社保通知No.20（健康保険高齢受給者証の更新について・協会けんぽ）を会員宛に送付。

◆ 会員事業部門

[医療管理]

- ・ 歯科相談 6 件
- ・ 歯科助手講習会打合せ報告（4/9）
- ・ 歯科衛生士募集の近鉄車内広告の時期について：6月1日から2週間掲載される。
- ・ 歯科医師ジョブシャドウイング事業と歯科衛生士インターンシップ事業について：三重県教育委員会から現在行っている歯科衛生士インターンシップ事業に、今年度から新たに歯科医師の現場見学としてジョブシャドウイング事業を受け入れてくれないかという要望があったので協力したい。（承認）

[学 術]

- ・ 第11回朝日大学歯科医師臨床研修指導医ワークショップの開催について：4月会報とともに案内文書を送付。
- ・ 図書購入について：『包括歯科臨床（筒井昌秀・筒井照子著）』『コンセプトをもった予知性の高い歯周外科処置（小野善弘・畠山善行・宮本泰和・松井徳雄著）』。

● 地域保健部門

[公衆衛生]

- ・ 地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業打合せ会報告（3/12）
- ・ 三重県学校保健会理事会・評議員会出席報告（3/24）
- ・ 三重県公衆衛生審議会出席報告（3/24）
- ・ 伊勢度会支部学校歯科医研修会（3/29）
- ・ 8020推進事業打合せ報告（4/2）
- ・ 一時保護児童健診指導事業実施報告

- ・ 歯の衛生週間事業実施要領について：中井常務理事より平成21年度歯の衛生週間事業実施要領について説明。

- ・ 地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業調査（対象：施設職員・保護者、会員診療所）結果について：アンケート結果を5月会報とともに会員と施設に送付する。

- ・ 平成21年度8020運動推進特別事業について
- ・ 第14回三重県歯科保健大会実行委員について
- ・ いい歯の8020表彰審査表について：内容の一部を変更した。

[障 害 者]

- ・ 障害者歯科センター推進連絡協議会結果報告（3/12）
- ・ 4月からの非常勤歯科医師の交代について：三重大学歯科口腔外科の加藤英治先生が着任。

▲ 情報処理部門

[広報編集]

- ・ 広報編集委員会報告（3/12）
- ・ 中日新聞との打合せ報告（4/2）
- ・ 『三歯会報』4月号発行・5月号編集
- ・ 会員役員名簿作成の進捗状況について
- ・ 平成21年度情報処理部門事業ビジョン
- ・ 支部広報担当者連絡協議会について
- ・ 中日新聞コラム「歯のオアシス」掲載23回目（3/12）「老化は口元から」24回目（3/29）「歯と歯茎は命の証し」

[企画調査]

- ・ 情報処理部門打合せ報告（4/2）
- ・ 平成21年度情報処理部門事業ビジョン
- ・ 平成21・22年度企画調査委員会事業予定
- ・ 平成21年度最新歯科医療実態調査検討委員会開催について

承認事項

- ・ 会員数：一般696名、勤務27名、終身126名、特別3名、法人5、合計857名。



協議事項

[4月5日(日)開催時]

1. 理事の順位及び部署について
2. 理事会議事録署名人順序の決定について
3. 三重県歯科医師会事業機構について
4. 理事会の運営方法について
5. 日歯代議員・予備代議員の選出について
6. 日歯各委員会委員の推薦について
7. 警察医の選出について
8. 関連団体役職について
9. 委員の委嘱について

[4月9日(木)開催時]

1. 会務並びに事業の運営について
 - (1) 全体委員会・各委員会の開催について
4月16日(木)午後2時から開催。
 - (2) 顧問の委嘱について
 - (3) 東海信越地区歯会役員・国保組合役員・連盟役員合同連絡協議会について
2. 平成21年度年間事業計画について
平成21年度事業計画大綱に則り、以下の臨時委員会を設置する。
 - (1) コ・デンタルスタッフに関する検討委員会
→担当：齋藤常務理事
 - (2) 機構改革委員会（公益法人制度改革等）
→担当：橋本副会長
 - (3) レセプト電算化・オンライン化対策委員会
→担当：田所副会長
3. 支部長会の招集並びに附議事項について
4. 第203回臨時代議員会の招集並びに附議事項について
5. 第74回定時総会の招集並びに附議事項について
6. その他
 - (1) 三重県歯科医師協同組合取扱いの「三重県歯科医師会グループ保険」加入者数減少により、団体割引の特典が無くなる可能性が出てきた。新規加入者を募る。
 - (2) タウン誌への記事掲載について

■ 社会保障 支部担当者 連絡協議会

Social Security Section

第1回支部社保担当者連絡協議会

開催日：平成21年4月23日（木）

開催場所：三重県歯科医師会館

県歯と支部担の役割を再確認、 支部へも積極的に出かけた

県下11支部の支部社保担当者を招集し、今年度最初の支部社保担当者連絡協議会が開催された。執行部・支部担当者ともに大きく顔ぶれが変わったが、力を合わせて会員サポートを充実していくため、それぞれの役割を再確認するとともに、従来以上の緊密な連携体制作りに着手している。

前回支部社保担当者連絡協議会以降の保険診療に関わる種々の情報について理事者から詳細に報告。行政指導関連では、21年度にはこれまで三重県では実施されていなかった「新規集団指導」が

計画されていることが新たな動き。すでに始まったレセプト電算化、2年後に義務化が迫るレセプトオンライン化については、県歯で対策委員会を立ち上げるが、支部社保担当者にも協力が求められた。

また、より会員に近い位置に立って県歯社保事業を執行していきたいという強い意向の羽根新常務理事から、各支部で開催される講習会に積極的に呼んでほしいとの要請があった。

● 公衆衛生 支部担当者 連絡協議会

Regional Health Section

第1回公衆衛生委員・支部公衆衛生担当者合同連絡協議会

開催日：平成21年4月23日（木）

開催場所：三重県歯科医師会館

8020運動推進特別事業について協議

各支部の公衆衛生担当者と県歯公衆衛生委員会が一堂に会した連絡協議会。中井常務理事による前年度の事業報告等の後、平成21年度の公衆衛生事業について三重県歯科衛生士会会長、副会長を交えて協議。

間近に迫った「歯の衛生週間事業」や、今年度は従来より早い時期から実施される「8020運動推進特別事業」等、ライフステージに対応して多岐

にわたって計画された様々な事業の実施には、支部の積極的な協力が不可欠。円滑で効果的な運営を目指し、活発な意見交換が行われた。

●平成21年度8020運動推進特別事業

高齢者心身口腔活性化、学校歯科保健推進、次世代育成（子育て）支援、フッ化物推進、地域歯科保健ネットワーク、地域障がい児(者)歯科ネットワーク、三重県8020推進員普及活動の各事業。

上場株式等の配当所得の課税方法の改正について

顧問税理士 植村公順

Q：上場株式等の配当所得の課税方法が改正されたようですが、その内容を教えてください。

A 1：税制改正の概要

平成21年1月1日以後に支払を受ける上場株式等の配当等については、①申告不要制度及び、②総合課税制度(累進税率)に加え、③申告分離課税制度(下記の源泉徴収率と同じ一定税率)が創設されました。

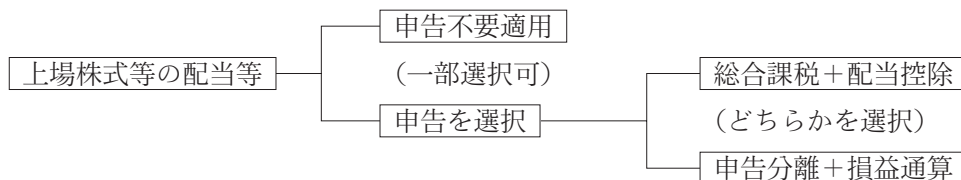
この申告分離課税制度は、上場株式等の譲渡損失(3年間の繰越損失を含みます。)と上場株式等の配当等の金額との損益通算を行うために創設されたものです。

また、居住者が支払を受ける上場株式等の配当等に対する現行の源泉徴収割合が、次のとおり1年延長されました。

配当等を受けるべき日	平成21年1月1日～ 平成23年12月31日	平成24年1月1日以後
源泉徴収割合	所得税7%、住民税3%	所得税15%、住民税5%

さらに、上場株式等の配当等の金額を確定申告する場合は、上場株式等の配当及びオープン型証券投資信託の収益の分配金等の支払通知書等を確定申告書に添付しなければならなくなりました。

A 2：上場株式等の配当所得の課税方法



① 上場株式等の配当等の申告不要制度

上場株式等の配当等を確定申告しないで、所得税7%、住民税3%の税率による源泉徴収によって上場株式等の配当所得の課税関係を完結させる方法です。

なお、年中に受け取った上場株式等の配当等ごとに確定申告をするか否かを選択できます。上場株式等の配当等を総合課税で確定申告すると、その配当等の金額を含めた課税所得が330万円以下の場合には所得税が還付されます。その課税所得が330万円を超える場合には上場株式等の配当等は申告不要適用が有利です。

② 総合課税制度

上場株式等の配当等の金額を事業所得、不動産所得、給与所得、雑所得など他の所得と合計して確定申告をし、配当控除を受ける方法です。この制度は、上場株式等の譲渡損失を損益通算できません。

③ 申告分離課税

上場株式等の配当等の金額を他の所得と区分して確定申告をし、上場株式等の譲渡損失(3年間の繰越損失を含みます。)と上場株式等の配当等の金額との損益通算を行う方法です。この場合、配当控除の適用はありません。

④ 上場株式等の配当等の金額を確定申告する場合には、その上場株式等の配当等の金額のすべてについて、総合課税と申告分離課税のいずれかを選択しなければなりません。

会員事業部門生涯研修コーナー

●今月の生涯研修該当論文

日本歯科医師会雑誌

<VOL. 62 No. 2 5月号>

研修コード 0805

特集「明日を拓く高齢者歯科医療」日本歯科医師会

研修コード 0199

FORUM「地域づくり・診療所づくりの中での食育（その2）」柁安秀樹（北海道帯広市開業）

		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	2.0	612.4	1,205.5	2.1	618.5	1,283.1
	家族	1.8	547.4	964.3			
後期高齢者医療		—	—	—	2.2	678.8	1,498.2

無料職業紹介所の利用について

三重県歯科医師会では、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした、無料職業紹介事業を行っております。（歯科助手については、日本歯科医師会認定書取得者及び取得予定者とします）

この事業では、職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に必ず職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

無料職業紹介所の利用法について

《求人者の場合》

○所定の求人申込書に必要事項を記入し提出してください。

尚、求人票の有効期限は3か月です。

《求職者の場合》

○所定の求職票に必要事項を記入し提出してください。

《求人・求職の申請と紹介方法》

下記へ連絡を戴ければ、関係書類をご送付申し上げます。

（註）この事業に関する事項は、職業安定法関係法令及び通達に準じて運営されることとなっておりますのでご了承ください。

三重県歯科医師会内

社団法人 三重県歯科医師会

歯科医療技術者等無料職業紹介所

〒514-0003

津市桜橋2丁目120-2

TEL 059-227-6480

委員会便り

障害者歯科センター

4月障害者歯科センター診療状況

診療日：6日

診療担当者：常勤1名、非常勤6名（内訳・会員3名、大学3名）

延患者数：117名

4月会務日誌

- 4. 2 社保担当理事打合せ会、8020特別事業打合せ会、情報処理部門打合せ開催
日本歯科医師会第1回理事会に峰会長出席
- 5 常務理事会・理事会開催
- 7 三重県立公衆衛生学院入学式に峰会長出席
- 9 理事会、選挙管理委員会、歯科助手講習会打合せ会、平成21年度保険医療機関の指導実施計画の打合せ開催
- 11 東海・信越地区歯科医師会連合協議会災害共済理事会、東海・信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会が岐阜県にて開催され峰会長、芝田専務理事出席
- 14 全体委員会、地域障がい児(者)歯科ネットワーク事業打合せ会、職業説明会事前打合せ会、レセプト電算化・オンライン化対策委員会立ち上げ準備会、歯科医療実態調査に関する打合せ開催
日本歯科医学会第1回理事会に峰会長出席
- 19 歯科助手講習会開催
- 23 支部公衆衛生担当者・公衆衛生委員合同連絡協議会、支部社会保障担当者連絡協議会、三重県歯科衛生士会と公衆衛生担当者合同連絡協議会、三重県・三重県教育委員会・三重県歯科医師会公衆衛生各事業打合せ会開催
日本歯科医師会第2回理事会に峰会長出席
- 26 歯科助手講習会開催
三重県歯科衛生士会総会に峰会長出席
- 30 支部長会、第202回臨時時代議員会、第74回通常総会開催

会員消息のページ

新入会員紹介



なかがわとしゆき
中川俊幸先生（5. 8付）
（診）津市久居新町766番地20
中川歯科医院
電話 059-255-2648
FAX 059-255-2729
（住）津市大園町12番30号
電話 059-228-9616
（津支部）

FAX変更

長野幸城先生（南紀）
（診）0735-32-3388

本会会員数（5. 1現在）			
一般会員	692名	勤務会員	23名
終身会員	134名	特別会員	3名
法人会員	5名	計	857名
日歯会員数	65,139名（3. 31現在）		

新入会員 Profile

なかがわとしゆき

中川俊幸先生（津支部所属）

1. 学歴

高校 三重県立津高等学校

大学 大阪歯科大学（平成元年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成2年6月 三重大学医学部附属病院

平成4年6月 三重大学医学部口腔外科学
講座

平成18年6月 カリフォルニア大学デイビ
ス校整形外科学研究室

平成21年4月 中川歯科医院

3. 家族構成 妻

4. 歯科医になった動機

父が歯科医師なので、自然に歯科医を目指
していました。

5. 大学の同級生（県内）

鳴神達也先生、金剛寿美子先生

伊藤 太先生

6. 大学の所属クラブ

弓道部、写真部

7. 健康法

週1回のテニス

8. うれしかったこと

アメリカ生活を経験できたこと。

9. 悲しかったこと

留学中に母と兄が亡くなったこと。

10. 今迄に経験した特殊な症例

三重大学で経験した多数の貴重な症例

▲企画調査委員会からのお知らせ

今年7月、
三重県歯科医師会
最新歯科医療実態調査
を行います

平成21年度は本執行部任期初年度に当たるため、「最新歯科医療実態調査」を行います。この調査は三重県歯科医師会諸事業の根拠となる、とても大切なものです。会員の皆様すべてのご協力をお願いいたします。なお、平成22年度事業計画策定に資するという目的に鑑み、本年度は7月に調査を実施する予定です。

編集後記

広報編集を担当させて戴いて1か月、会報作成、校正作業等がいかにかに国語力を問われる仕事であるかを痛感しています。

今年から小学校では英語教育が実施されています。確かに英語は国際社会においては外国人とのコミュニケーションツールとして必要でしょう。しかし、いかに早くから英語を学ぼうと、まず母国語の力がなければ、その言葉は薄っぺらなものになってしまうのではないのでしょうか。国語は義務教育の最重要教科だと改めて思います。

また、初めて参加した県歯医学会では、長時間の会議にも関わらず、冗長さを感じなかったのに驚きました。あらかじめネットを通じて資料を共有する等の準備があり、協議の密度が濃いからでしょう。

再び学校教育に話を戻しますが、授業の一コマ一コマも、既存のイメージにとらわれず、その時間の使い方を再考する時期が来ているような気がします。

(広報編集担当理事・熊谷 渉 記)



新しい時代のベンチマーク ニューBMW 7シリーズ

BMW Japan 正規ディーラー

Mie Chuo BMW

■鈴鹿ショールーム 〒510-0254 鈴鹿市寺家 6 丁目21-21 TEL (059) 387-3311

■伊勢ショールーム 〒516-0051 伊勢市上地町1040 TEL (0596) 22-0125

三 歯 会 報

平成21年 6 月10日印刷/平成21年 6 月15日発行

発行所/〒514-0003 三重県津市桜橋 2 丁目120-2 三重県歯科医師会 ☎059-227-6488

発行人/峰 正博/編集/広報編集委員会/印刷所/矢田印刷

三重県歯科医師会ホームページ address <http://www.dental-mie.or.jp/>